

- 本資料には、当社及び当社のグループ会社（以下当社と併せて「当社グループ」という）の財務状況、経営成績、事業等に関する将来予想の記述が含まれております。かかる将来予想は、その性質上、発生の可能性が不確定な将来の事由や環境等に左右されることから、当該記述には、リスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の財務状況、経営成績、事業等が、かかる将来予想と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知願います。
- 新しい情報、将来の出来事又はその他の事由により、将来予想の記述に関し、更新又は修正が望ましい場合であっても当社は、それらを行う意図を有するものではなく、また、義務を負うものではありません。
- 本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、これらを保証するものではありません。
- 本資料に述べられたIQVIA、Euromonitor他（以下「情報機関」と総称する）のレポートは、情報機関の購読サービスの一部として顧客向けに発行されたデータ、リサーチ・オピニオン又は視点を表したものであり、事実を表現したものではありません。情報機関の各レポートは、レポート発行時点における見解であり、本資料作成時点のものではありません。また、情報機関のレポートで述べられた意見は、情報機関により、事前の予告なしに変更されることがあります。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

2020年度 第3四半期 決算説明資料

取締役 CFO
牧野 祐子

大塚ホールディングス株式会社

- **決算ハイライト**
- **連結業績の概要**
 - 医療関連事業
 - ニュートラシューティカルズ*関連事業
- **2020年度 連結業績の見通し**
- **独自のトータルヘルスケア企業だからできる新たな社会貢献**

Q1-3実績 連結売上収益は、前年同期比3.7%増収の10,670億円

- 医療関連事業は、グローバル4製品が順調に成長し、20.1%上昇で業績を牽引
- NC関連事業は、新型コロナウイルス感染拡大および日本の天候不順の影響を受けるも、ネイチャーメイド、デイヤおよびエクエルが引き続き成長した結果、前年同期と同水準まで回復

Q1-3実績 事業利益は、前年同期比20.7%と大幅増益となり、順調に推移

- グローバル4製品増収による売上総利益の増加、および一層の経費効率化による効果

通期計画 事業利益は、8月公表値から更に200億円の上方修正

- 主に、好調な医療関連事業の計画を見直した結果、事業利益は上半期に引き続き上方修正

通期計画 当期利益*は、減損損失を計上したが、前年比18%増益の1,500億円（8月公表値通り）

*親会社の所有者に帰属する当期利益

連結業績の概要 | 2020年度 第3四半期

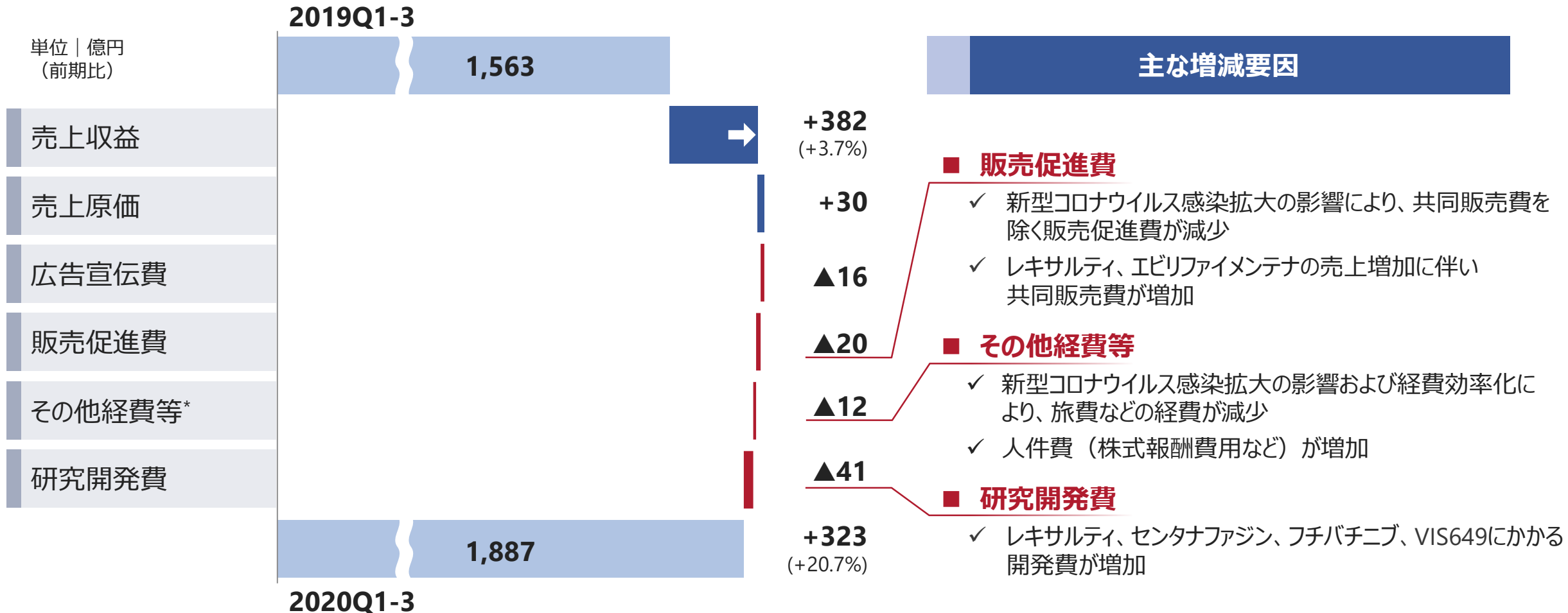
- 連結売上収益は、前年同期比3.7%増収の10,670億円
- 研究開発費投資前事業利益+11.8% (+365億円)、事業利益+20.7% (+323億円)、当期利益*4 +14.6% (+162億円) と前年同期比で大きく増加

単位 億円	2019年度 Q1-3実績	2020年度 Q1-3実績	増減	増減率
売上収益	10,288	10,670	+382	+3.7%
医療 グローバル4製品*1	2,710	3,255	+545	+20.1%
NC 主要・育成3ブランド*2	1,719	1,727	+8	+0.5%
研究開発費投資前事業利益	3,103	3,467	+365	+11.8%
研究開発費	1,539	1,581	+41	+2.7%
事業利益*3	1,563	1,887	+323	+20.7%
営業利益	1,558	1,717	+159	+10.2%
当期利益*4	1,115	1,278	+162	+14.6%

*1 グローバル4製品 (エピリアイメンテナ、レキサルティ、サムスカ/ジンアーク、ロンサーフ) *2 主要3ブランド (ポカリスエット、ネイチャーメイド、N&S製品)、育成3ブランド (デイヤ、エクエル、ボディメンテ)

*3 事業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費および一般管理費 + 持分法による投資損益 - 研究開発費、*4 親会社の所有者に帰属する当期利益

- 医療関連事業の売上収益増加が増益に大きく貢献
- 新型コロナウイルス感染拡大の中でも事業利益は20.7%増加し、収益力が着実に向上

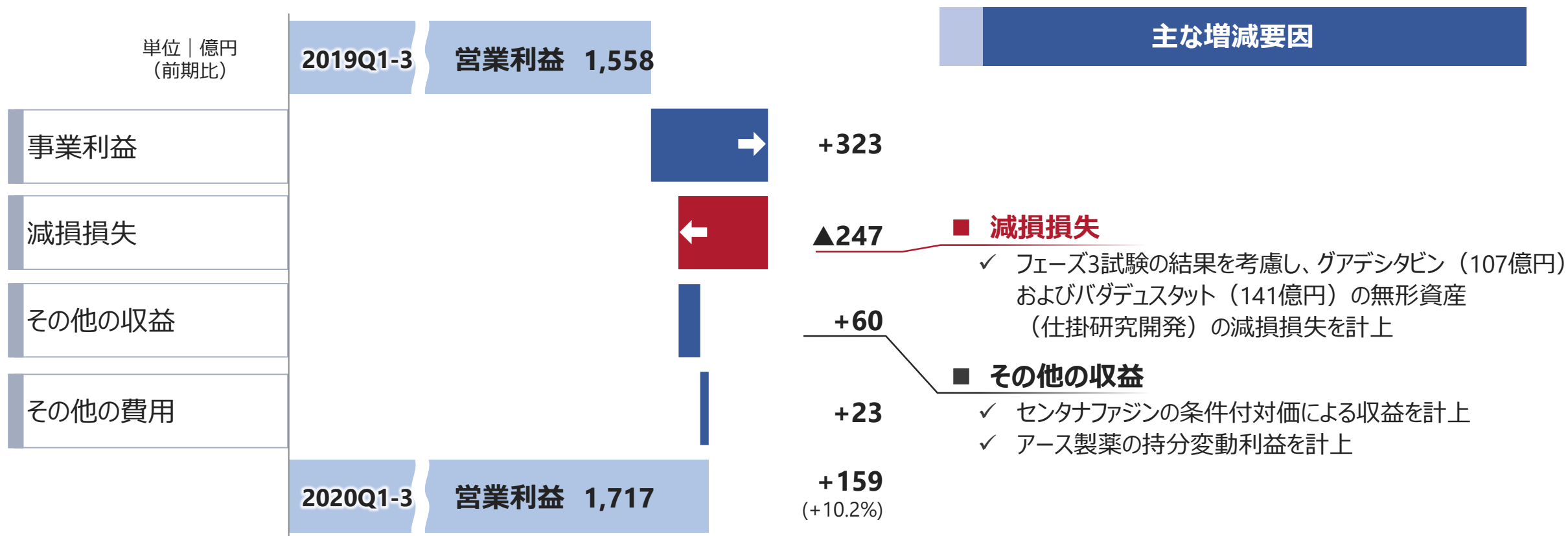


* 広告宣伝費、販売促進費を除く販売管理費および持分法投資利益を含む

増減の符号は事業利益への影響

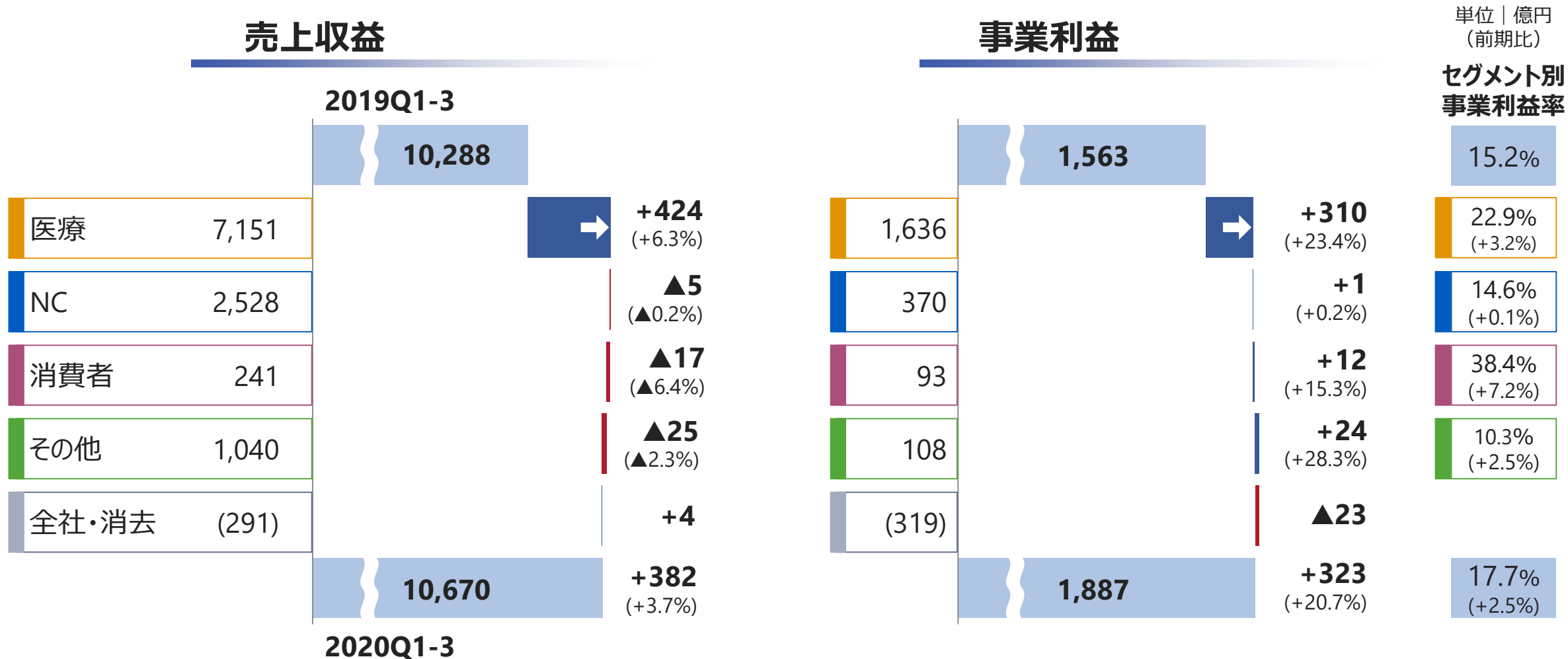
■ 費用増加 ■ 費用減少

■ 減損損失およびその他の収益等の要因により、営業利益は159億円の増加



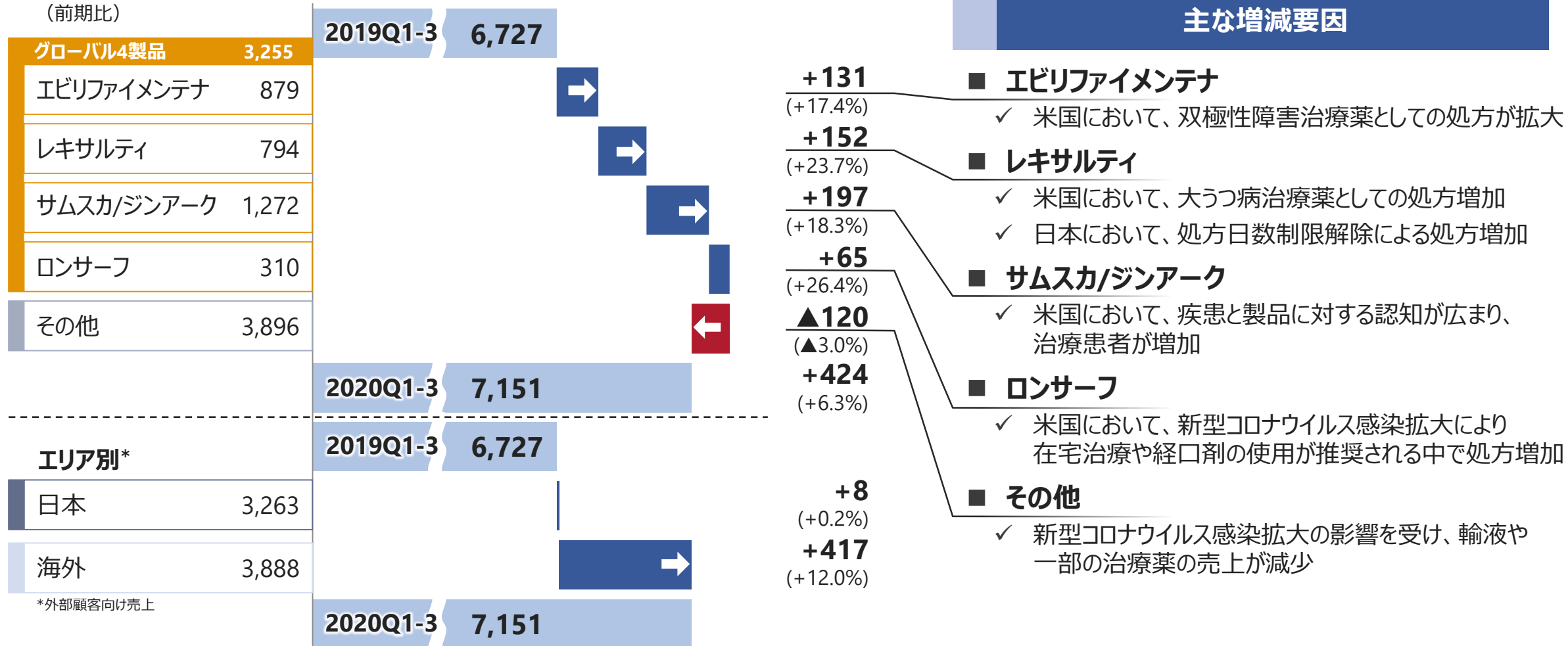
連結業績 | 事業セグメント別の売上収益と事業利益

- 医療関連事業が売上収益+6.3%、事業利益+23.4%と大きく伸長し、連結業績の増収増益を牽引
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響は継続しているが、NC関連事業における売上収益および事業利益は前年同期並みに回復



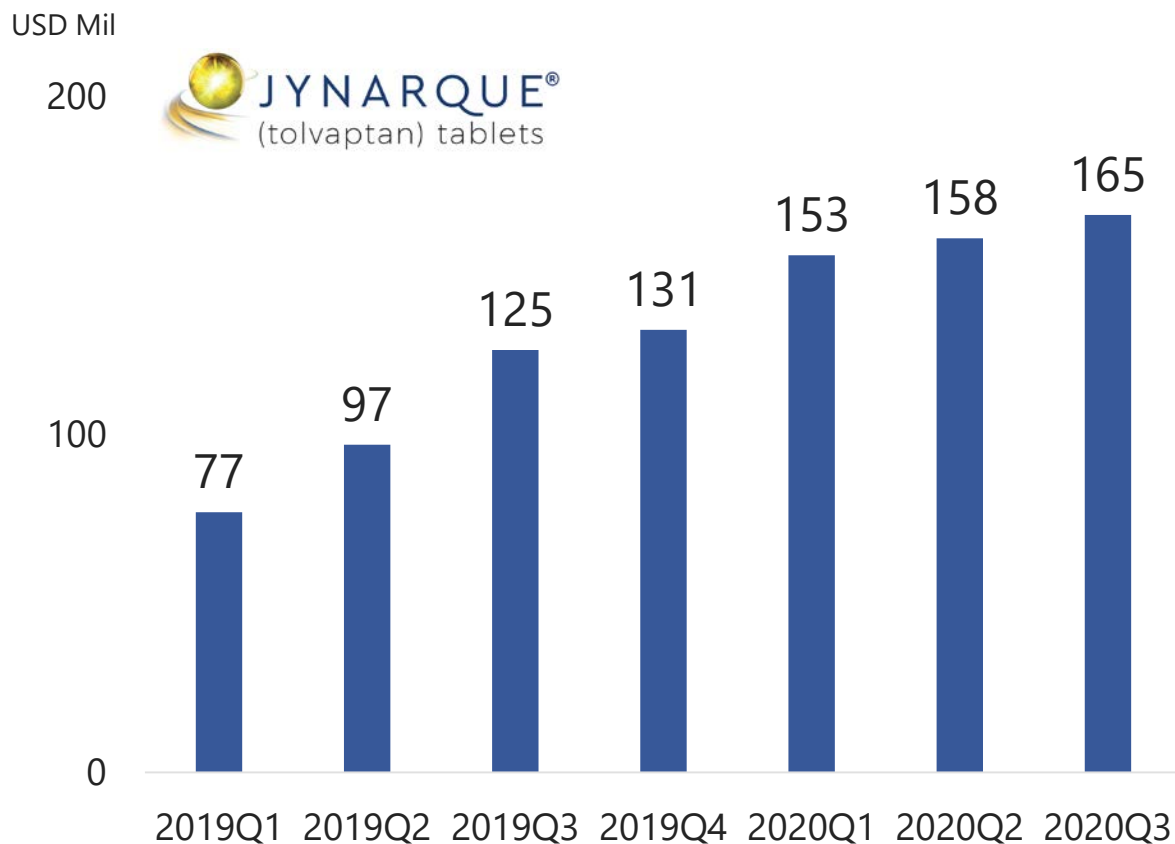
■ グローバル4製品が順調に伸長し、増収に貢献

■ 患者の受診抑制、手術件数の減少および病床稼働率の低下による影響が継続し、輸液等の事業は減収

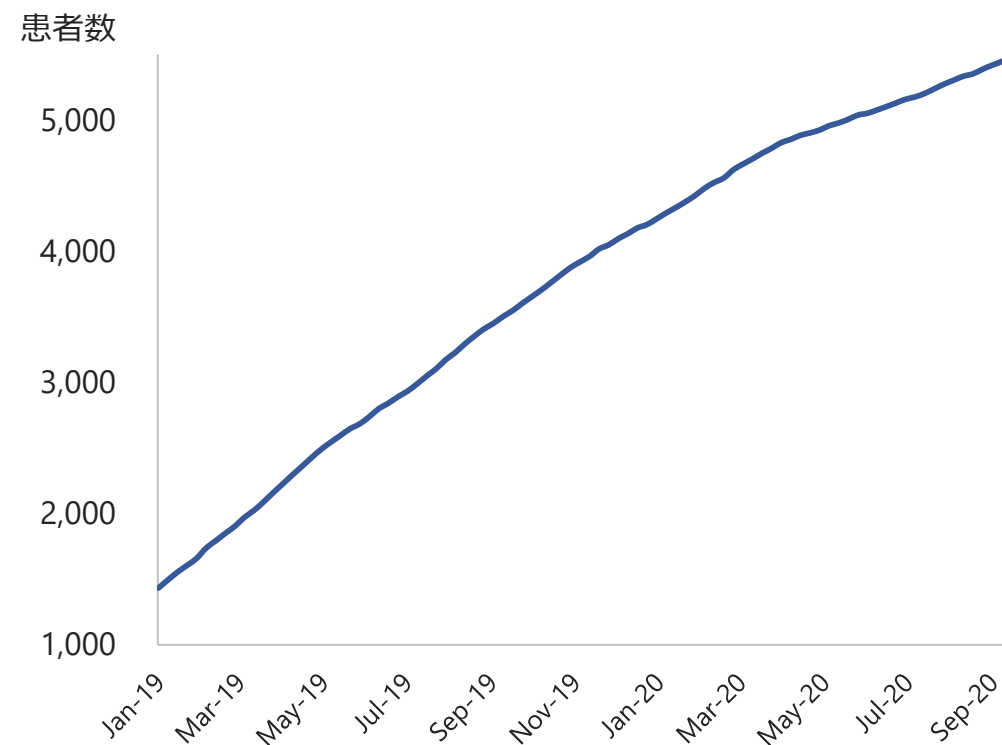
 単位 | 億円
 (前期比)


*外部顧客向け売上

- 米国の四半期ごとの売上は順調に推移
- さらなるADPKD治療への貢献に向けて、疾患啓発と適正使用の推進に取り組む

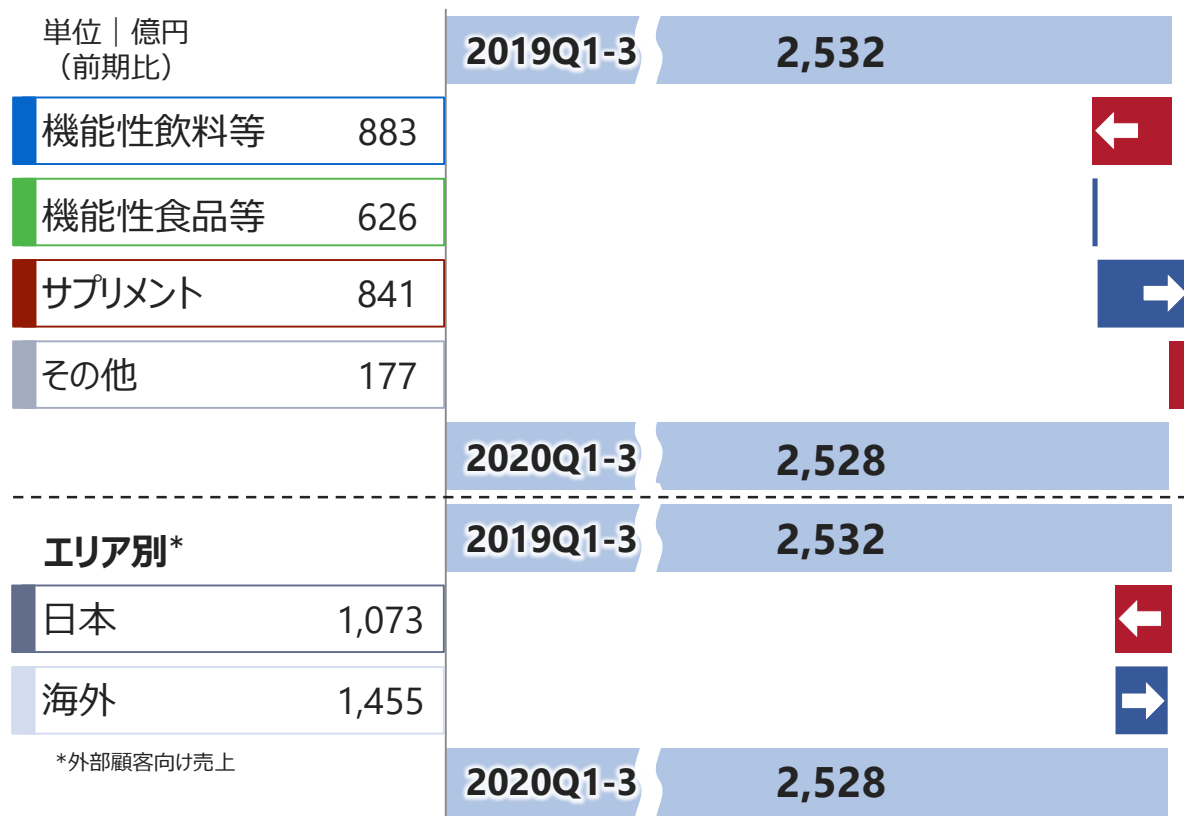

 米国売上推移 | ジンアーク


米国の累計新規患者数*の推移



*治験からの患者除く

- 機能性飲料等 | 新型コロナウイルス感染拡大および日本の天候不順の影響によりポカリスエットが減収
- サプリメント | 体調管理への意識の高まりに伴い、ビタミン剤を中心に好調が続き、ネイチャーメイドが増収



▲93
(▲9.5%)

+6
(+0.9%)

+105
(+14.2%)

▲22
(▲11.1%)

▲5
(▲0.2%)

▲66
(▲5.8%)

+61
(+4.4%)

主な増減要因

■ 機能性飲料等

- ✓ ポカリスエット | 新型コロナウイルス感染拡大および日本の天候不順の影響により減収

■ 機能性食品等

- ✓ N&S社 | 為替影響、および新型コロナウイルス感染拡大に伴う都市封鎖や外出規制等の影響により減収
- ✓ デイヤ | 北米におけるチーズ代替品等の成長により増収

■ サプリメント

- ✓ ネイチャーメイド | 体調管理への意識の高まりに伴い、ビタミン剤を中心に好調が続き増収
- ✓ エクエル | 幅広い情報提供活動により製品の認知が進み、売上が順調に成長

【カテゴリーを構成する主な製品】

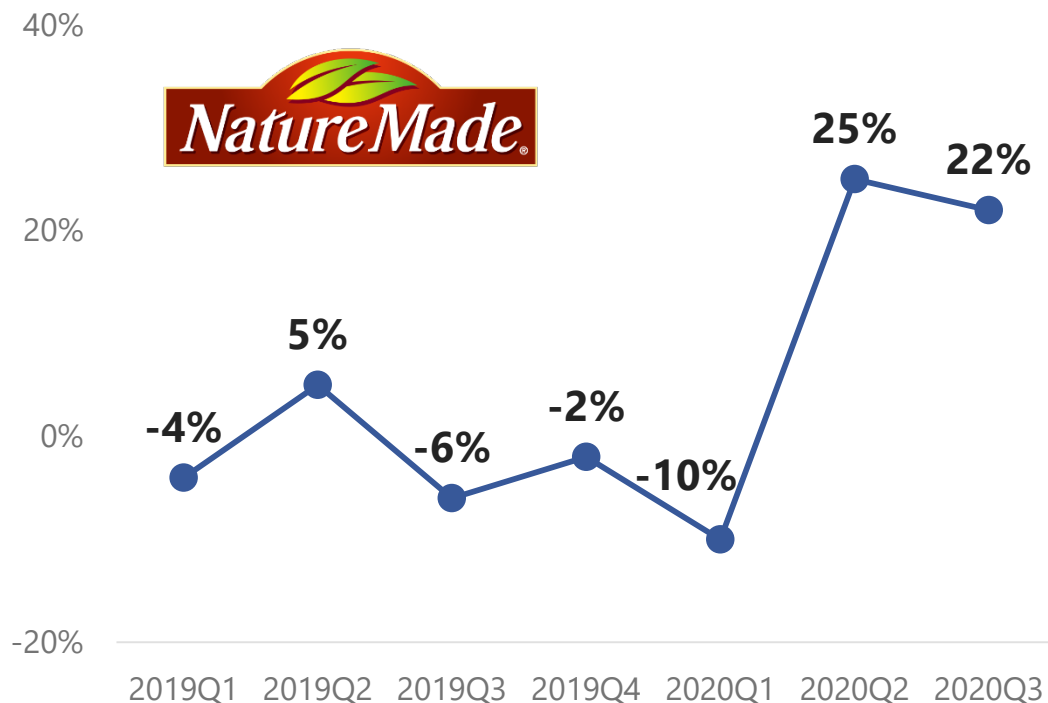
機能性飲料等 | ポカリスエット、オロナミンC、チオピタ、OS-1、ポディメンテ、ファイブミニ、アミノバリューなど

機能性食品等 | N&S製品、カロリーメイト、デイヤ、SOYJOY

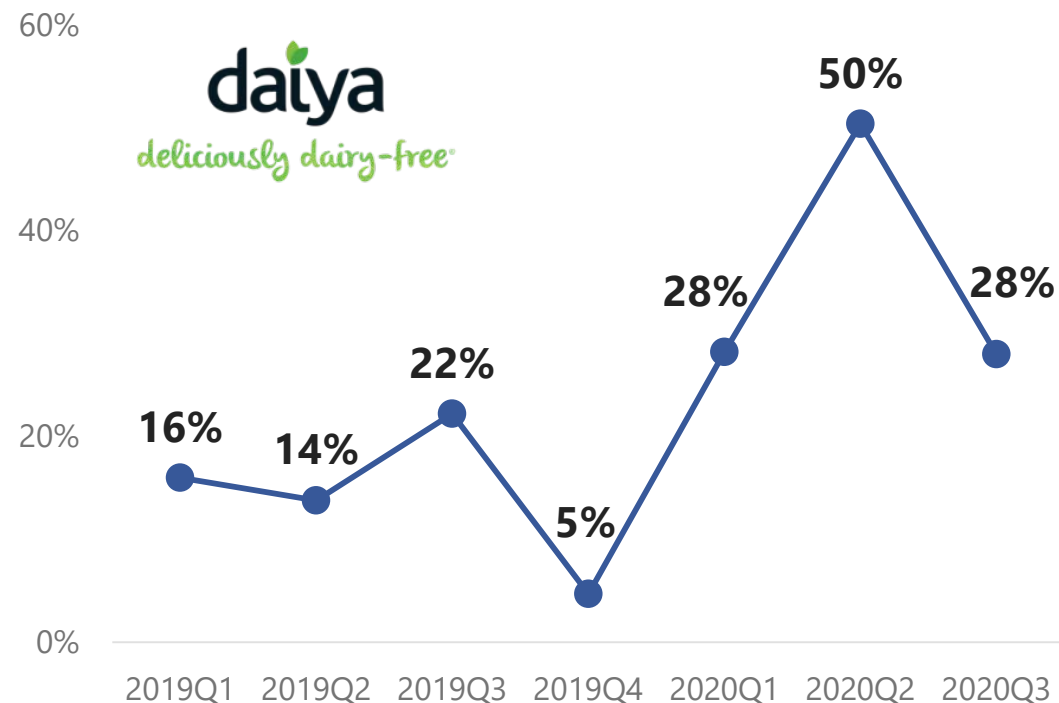
サプリメント | ネイチャーメイド、エクエル、賢者シリーズなど

- 体調管理への意識の高まりに伴い、より多くの消費者がネイチャーメイドを選択
- チーズ代替品の市場成長および家庭内需要の増加によりダイヤの売上が増加
- 自社のプロモーション活動や生産体制強化を加速し、成長と評価を支えている

前年同四半期比 上昇率 | ネイチャーメイド売上



前年同四半期比 上昇率 | デイヤ売上



2020年度 連結業績の見通し

- グローバル4製品の順調な成長により医療関連事業の売上計画を100億円増額
- 医療関連事業の伸長および経費効率化の推進により、事業利益を2,200億円に上方修正

単位 億円	2020年 Q1-3実績	通期計画 2020/8公表	通期計画 2020/11公表	増減額
売上収益	10,670	14,100	14,200	+100
研究開発費投資前事業利益	3,467	4,200	4,400	+200
研究開発費	1,581	2,200	2,200	-
事業利益	1,887	2,000	2,200	+200
営業利益	1,717	2,020	2,030	+10
当期利益*	1,278	1,500	1,500	-

*親会社の所有者に帰属する当期利益

■ アフターコロナ時代に向けて今こそ真価を発揮し、ニューノーマルでの健康意識の高まりを成長機会へ

販売

- 医療 : リアルとデジタルの融合によるハイブリッド型情報提供活動により、今まで以上の営業活動を推進
: 治療の開始や継続をサポートする体制を強化
- NCその他 : リモート商談を活用した付加価値の高い情報提供により、密度の高い商談かつスピードアップを推進
: 健康意識の高まりに対応し、機能性を訴求した消費機会の創出
: 製品のブランド特性を生かして家庭内需要を喚起
: 各エリアに根ざした、人々の健康増進のサポート

研究開発

ITツールを活用した次世代の臨床試験プラットフォーム構築等を推進し、治験業務効率化とデータの質の向上に努める
新型コロナウイルス抗原測定キット「クイックナビ-COVID19 Ag」をデンカ株式会社と併売

生産・物流

安定供給体制の維持に向けたBCPの一層の強化、省人化への技術開発
デジタル技術を活用した”共通プラットフォーム”化の促進による非接触物流の強化

参考資料

【為替レート】

通貨	為替レート（期中平均）			2020年度 為替予想
	2019Q1-3	2020Q1-3	増減	
1米ドル	109.12円	107.56円	▲1.56円	105円
1ユーロ	122.61円	120.94円	▲1.67円	120円

【2020Q1-3 | 為替変動による業績への影響額】

売上収益	営業利益
▲約110億円	▲約20億円

【2020年 | 為替レート1円 円安による影響額】

通貨	売上収益	営業利益
1米ドル	+約43億円	-
1ユーロ	+約8億円	-

【持分法投資利益/減損損失】

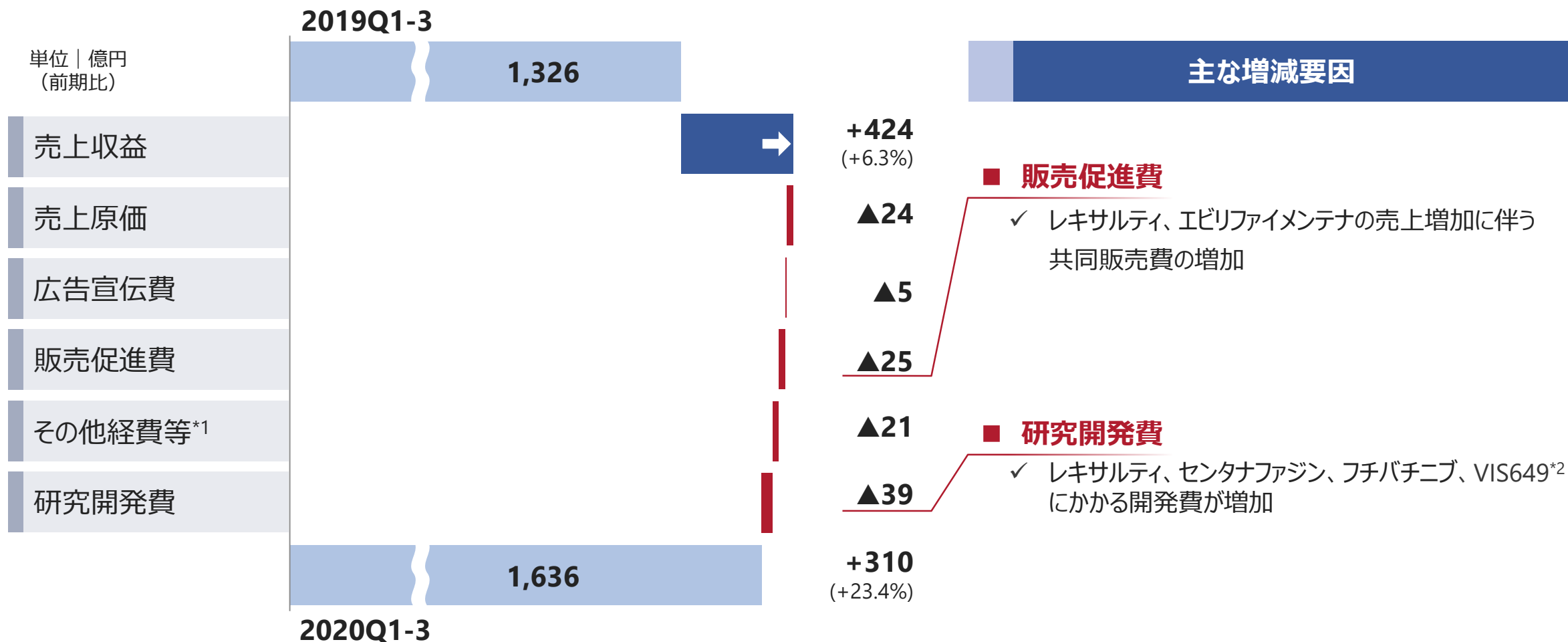
単位 | 億円

セグメント	持分法投資利益		減損損失	
	2019Q1-3	2020Q1-3	2019Q1-3	2020Q1-3
医療	33	0	2	250 ^{*2}
NC	4	2	1	1
消費者	87	98	-	0
その他 ^{*1}	25	33	-	-
連結	148	133	4	251

*2 グアデシタピン (SGI-110) 107億円
バダデュスタット 141億円

*1 その他事業および全社

- グローバル4製品を中心とした成長ドライバーが増益に大きく貢献
- 持続的成長へ向けた積極的な研究開発投資を継続

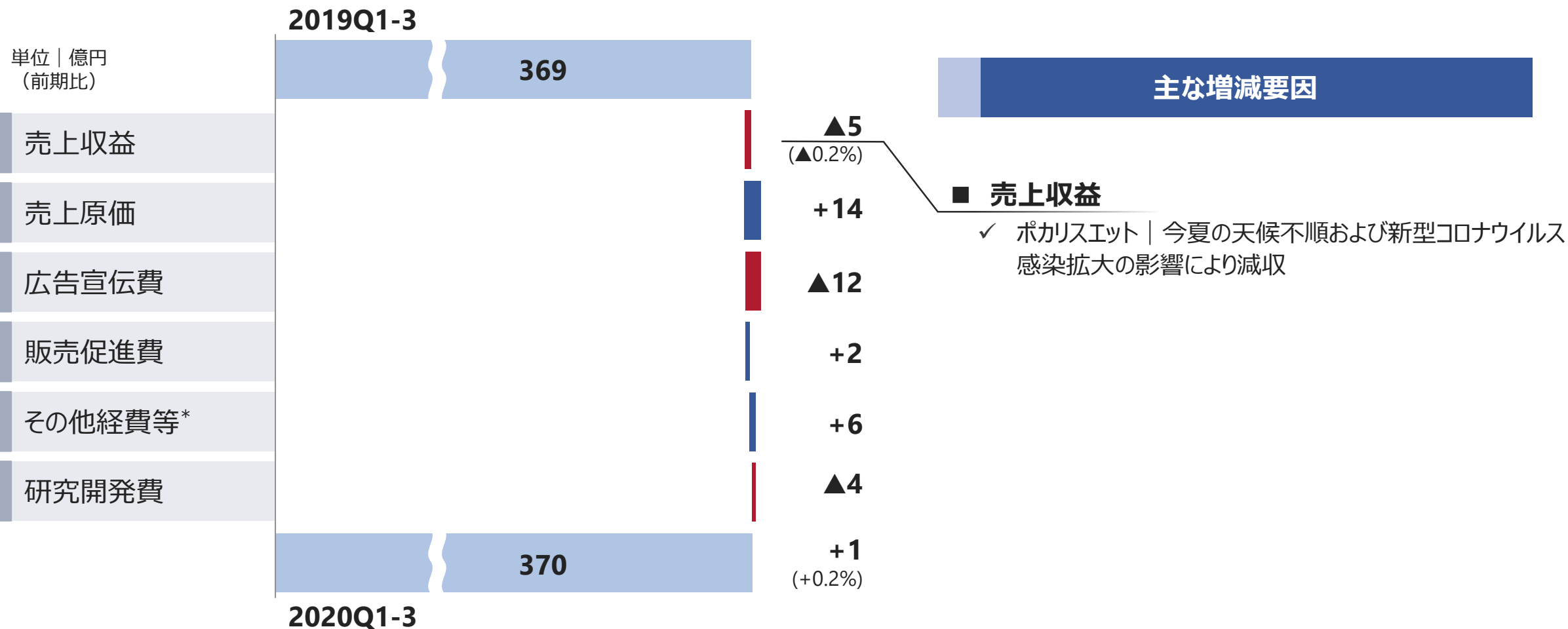


*1 広告宣伝費、販売促進費を除く販売管理費および持分法投資利益を含む

増減の符号は事業利益への影響

*2 Visterra社開発品

■ 機能性飲料等 | 新型コロナウイルス感染拡大および日本の天候不順の影響によりポカリスエットが減収



*広告宣伝費、販売促進費を除く販売管理費および持分法投資利益を含む

増減の符号は事業利益への影響

■ 費用増加 ■ 費用減少